

産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 6 月 16 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良市西九条町4丁目2番地の2

氏名 大和ハウス工業株式会社 奈良工場 工場長 尾崎 学

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-64-1500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 奈良工場
事業場の所在地	奈良市西九条町4丁目2番地の2
計画期間	2020年4月1日から 2021年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

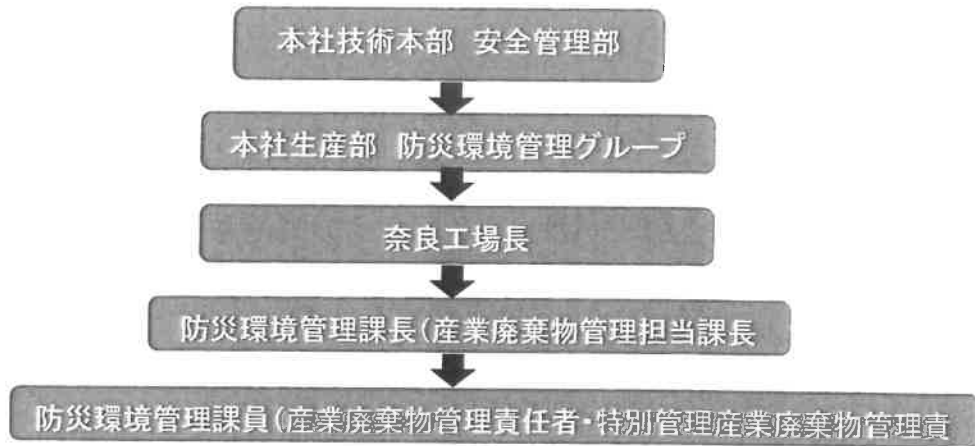
① 事業の種類	（日本標準産業分類の区分を記入すること） 日本標準産業分類 の区分 製造業 金属製品製造業
② 事業の規模	（業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること） 製品出荷額 2019年実績 工場売上高 27,209百万円
③ 従業員数	500 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	（工場生産活動により発生する廃棄物） ・汚泥：再生利用業者または熱回収業者へ処理委託し再資源化 ・廃油：熱回収業者へ処理委託し再資源化 ・廃酸、廃アルカリ；熱回収業者へ処理委託し再資源化 ・廃プラスチック類：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化 ・木くず：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化 ・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ委託し再資源化 （建設現場から発生する廃棄物） ・廃プラスチック類：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化 ・木くず：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化 ・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ委託し再資源化



（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙の通り			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙の通り			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 42の分類に分別を実施している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類のうち工場生産過程で発生する屋根パネル用ルーフィング材の剥離紙を分別して、サーマルリサイクルからプラスチック原料のマテリアルリサイクルに変更する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2019 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	t
(これまでに実施した取組)			
・2017頃まで軟弱廃プラスチックの圧縮による再生原料向け有価物化を行っていた。(設備故障により稼働を停止していた)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	21.0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
・故障により稼働停止していた軟弱廃プラスチックの圧縮を設備の修理により再開する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2019 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	
	(工場生産活動により発生する廃棄物)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥：再生利用業者または熱回収業者へ処理委託し再資源化</li> <li>・廃油：熱回収業者へ処理委託し再資源化</li> <li>・廃酸、廃アルカリ：熱回収業者へ処理委託し再資源化</li> <li>・廃プラスチック類：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化</li> <li>・木くず：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化</li> <li>・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ委託し再資源化</li> </ul>	
(建設現場から発生する廃棄物)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック類：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化</li> <li>・木くず：RPFへの再生利用業者へ委託し再資源化</li> <li>・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ委託し再資源化</li> </ul>		

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り		t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り		t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・ 県外への産業廃棄物の搬入量を削減し県内処理を増加させ物流によるCO <sub>2</sub> を削減する。				
※事務処理欄				

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	大和ハウス工業株式会社 奈良工場	担当者氏名	八木澤 真一
報告者所属部署	防災環境管理課	電話番号	0742-64-1514

産業廃棄物の種類	実績・計画		(第2面)				(第3面)			(第4面)				(第4～5面)			
	前年実績	計画	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量(自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)			認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者				
									優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者						
1 汚泥	前年実績		224.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	224.00t	224.00t	100.50t	0.00t	0.00t	123.50t				
	計画		201.60t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	201.60t	201.60t	90.72t	0.00t	0.00t	110.88t				
2 廃油	前年実績		115.24t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	115.24t	114.24t	0.00t	0.00t	0.00t	114.24t				
	計画		103.72t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	103.72t	103.72t	0.00t	0.00t	0.00t	103.72t				
3 廃酸	前年実績		12.20t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t	12.20t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t				
	計画		10.98t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	10.98t	10.98t	0.00t	0.00t	0.00t	10.98t				
4 廃アルカリ	前年実績		40.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	40.80t	40.80t	0.00t	0.00t	0.00t	40.80t				
	計画		36.72t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	36.72t	36.72t	0.00t	0.00t	0.00t	36.72t				
5 廃プラスチック類	前年実績		740.10t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	740.10t	740.10t	663.12t	0.00t	0.00t	76.98t				
	計画		666.09t	0.00t	21.00t	0.00t	0.00t	645.09t	645.09t	578.09t	0.00t	0.00t	67.00t				
6 木くず	前年実績		1,344.50t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,344.50t	1,344.50t	1,344.50t	0.00t	0.00t	0.00t				
	計画		1,210.05t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,210.05t	1,210.05t	1,210.05t	0.00t	0.00t	0.00t				
7 金属くず	前年実績		49.40t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	49.40t	49.40t	49.40t	0.00t	0.00t	0.00t				
	計画		44.46t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	44.46t	44.46t	44.46t	0.00t	0.00t	0.00t				
8 ガラスくず等	前年実績		2,073.58t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	2,073.58t	2,073.58t	2,005.59t	67.99t	0.00t	0.00t				
	計画		1,866.22t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,866.22t	1,866.22t	1,816.22t	50.00t	0.00t	0.00t				
9 蛍光灯等	前年実績		0.07t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.07t	0.07t	0.07t	0.00t	0.00t	0.00t				
	計画		0.06t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.06t	0.06t	0.06t	0.00t	0.00t	0.00t				
10	前年実績																
	計画																

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

〔前年度(2019年度)実績〕

①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯等	合計
排出量(t)	224	115.24	12.2	40.8	740.1	1344.5	49.4	2073.58	0.07	4599.89

(これまでに実施した取組)

- ・木くずの再利用化
- ・木材の定尺寸法変更による端材発生量削減
- ・木材の端材を工場内で再利用化
- ・建設現場から発生する余剰材の削減による廃プラスチック類の削減
- ・住宅用外壁材端材活用(胴水切り面材への加工)によるガラス、コンクリートくず及び陶磁器くずの削減
- ・石膏ボードのプレカット化による廃石膏ボードの削減

〔今年度(2020年度)目標〕

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	蛍光灯等	合計
排出量(t)	201.6	103.72	10.98	36.72	666.09	1210.05	44.46	1866.22	0.06	4139.9

(今後実施する予定の取組)

- ・木くずの再利用化
- ・木材の定尺寸法変更による端材発生量削減
- ・木材の端材を工場内で再利用化
- ・建設現場から発生する余剰材の削減による廃プラスチック類の削減
- ・住宅用外壁材端材活用(胴水切り面材への加工)によるガラス、コンクリートくず及び陶磁器くずの削減
- ・石膏ボードのプレカット化による廃石膏ボードの削減
- ・廃プラ圧縮機の再稼働による廃プラスチック類の削減